

1 目指す学校

「生きる力を育み社会へつなげる文武両道の中堅進学校」

(1) スクール・ミッション

「自主自律」・「文武両道」の実現を教育目標とし、外部と連携したキャリア教育、地域に根差した教育活動を通じて、思考力、基礎学力、実践力、人間力の四つの力を育み、社会を生き抜く強い「個」を育成する。

(2) スクール・ポリシー

○ グラデュエーション・ポリシー〔高島高校が育む四つの力〕

- 1 生涯にわたって学び続けるのに必要な知識やスキルなどの「基礎学力」が備わった人物
- 2 健康な体と健全な精神をもち、主体的に活動できる「人間力」が備わった人物
- 3 一つの事柄を様々な角度から考えたり、新たな発想を生み出したりする「思考力」が備わった人物
- 4 他者を思いやる心や社会に貢献しようとする心をもとに対話を通じて人間関係を構築できる「実践力」が備わった人物

○ カリキュラム・ポリシー〔四つの力を育むための教育活動〕

- 1 基本を重視した学習活動
 - ・ 確かな学力を伸ばす授業
 - ・ 社会に変化に対応した新しい学び
 - ・ 個の能力に応じた進学講習
- 2 個人もチームも輝く部活動
 - ・ 高い目標設定
 - ・ 専門性の高い指導者によるコーチング
 - ・ 高い規範意識の醸成
- 3 外部と連携したキャリア教育
 - ・ 夢を実現する進路学習
 - ・ 社会とつながる体験活動・探究活動
 - ・ 市民性を育む主権者教育
- 4 地域に根差した教育活動
 - ・ 生徒主体の生徒会活動・学校行事
 - ・ 地域と連携した合同行事・イベント参加
 - ・ 地域ボランティア等

○ アドミッション・ポリシー〔期待する生徒の姿〕

- 1 希望する進路の実現に向けて、自分を高める意欲をもち、自ら進んで学習に取り組むことができる生徒
- 2 中学校での部活動や学校行事、生徒会活動等の教育活動全般にわたり積極的に取り組み、本校に入学後も引き続き学習との両立を実現できる生徒
- 3 本校に入学後の生活において、基本的な生活習慣や学習習慣の確立等を通じ、自己管理を行うことができる生徒

2 中期的目標とその達成に向けた方策

グラデュエーション・ポリシーが備わった人物を育成するため、カリキュラム・ポリシーに基づいた教育課程を編成・実施し、アドミッション・ポリシーにかなった生徒を育成する。

(1) 学習指導

- ・ 生徒一人一人の学力向上を図り、GMARCHや日東駒専レベルの大学等、生徒の希望する大学に合格できる学力を身に付けさせる。
- ・ 新しい社会の変化に対応できる新しい学びを推進するため、スクール・ポリシーを踏まえた教科指導を実践する。

(2) 進路指導

- ・ 進路指導部を中心に組織的な進路指導を展開し、学習指導と進路指導の連携により、進学実績の向上を図る。
- ・ 大学進学を希望する生徒の進路実現に向け、3年間を見通したキャリア教育を実践する。

(3) 生活指導

- ・ 校則の遵守を組織的・計画的に指導するとともに、挨拶の励行、適切な身だしなみ、通学時のマナー、時間厳守など、基本的な生活習慣を確立させる。
- ・ 生徒の規範意識を醸成するとともに、他者への思いやりや道徳心を養い、地域に信頼される人材を育成する。

(4) 健康指導

- ・ 安全衛生に対する意識を向上させるとともに、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する。
- ・ 生命尊重を第一に、自殺予防やいじめ予防教育を充実するとともに、スクールカウンセラー及び関係諸機関と連携し、教育相談体制を充実させる。

(5) 特別活動・部活動

- ・ 生徒会活動や部活動等の活性化を通じ、帰属意識の定着と自己有用感を高め、高い次元の文武両道を実現する。
- ・ 交流および共同学習を推進し、障害のある生徒等と障害のない生徒等の相互理解を形成する。

(6) 募集・広報活動

- ・ 広報活動の活性化を図り、本校を第一希望とする意欲の高い生徒を多く獲得する。
- ・ 社会貢献活動を推進し、地域活性の拠点校としての地位を定着させる。

(7) 学校経営・組織体制

- ・ 企画調整会議や分掌会議、各種委員会を通じて、分掌間、分掌内及び学校全体の情報共有を深め、課題を見出し、オープン＆フラットに議論しながら課題を解決できる、自律的な学校改革を推進する。
- ・ 校務等のDX化を促進するとともに、「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、教職員のライフ・ワーク・バランスを推進する。

3 今年度の取組目標とその達成に向けた具体的方策

(1) 学習指導

【目標】

- ・ 四年制大学への進学を目標に、基礎的・基本的な知識の習得、知識を活用した探究的な学習、自学自習の定着を図る学習指導を工夫する。
- ・ 東京都教育ビジョン（第5次）及び未来の東京戦略等に基づくデジタル技術を活用した教育を推進する。

【方策】

- ・ チャイム始業を徹底するとともに、1単位時間の授業に集中して取り組ませる授業展開を工夫する。
- ・ 年間指導計画に基づき見通しをもって計画的に授業を行うとともに、知識を活用した探究的な学習を1単元に1つ取り入れるなど、授業における探究的な学習を実現する。
- ・ 朝学習及び各種講習を、教科、分掌及び学年との連携をもとに計画的・効果的に実施する。
- ・ スクール・ポリシーを踏まえた各科目のルーブリックを作成し、教科の観点別評価を公正に実施する。
- ・ 授業公開週間や研究授業を活用して教員相互の授業参観を1人当たり年3回以上実施するとともに、学期ごとの授業評価アンケートの結果を分析し、授業改善を図る。
- ・ デジタル技術を活用し、生徒の論理的思考力を育成するとともに、生徒の自己の理解度の把握や、生徒の学習サポートを実施する。
- ・ 英語4技能を伸ばすため、GTECの全員受検を実施するとともに、英検の受験を促進する。
- ・ 特別な支援や配慮を必要とする生徒に関する連絡会を実施して情報を共有し、指導の工夫・改善を図る。

【数値目標】

生徒の授業満足度 90%

(2) 進路指導

【目標】

- ・ 進路指導部を中心に各学年及び各教科が連携し、3年間の進路指導計画に基づく指導を実施する。
- ・ 探究学習委員会を中心に、学習・生活・進路指導を通して生徒のキャリア形成を図る。

【方策】

- ・ ホームルームや期末考査後の時間を活用したキャリア教育を充実させ、1年次から具体的な進路目標を設定させるとともに、生徒自身が自分の理解度の把握ができるよう指導する。
- ・ 模擬試験後の分析会やGTEC等の結果の把握を通して生徒の学力の状況や進路志望を教職員全体で共有し、生徒の希望進路実現を支援する。
- ・ 1年次の2学期末までに自学自習の習慣を定着させる。2年次の3学期を3年ゼロ学期として位置付け、生徒が自分自身の進路を具体的に考え、3年次に進路実現に向けて具体的に取り組むことができるよう指導する。
- ・ 一般入試での大学合格に向けた「中堅私大突破講座」等、対象を絞り込んだ講習や、3年次の2学期期末考査後から3学期にかけての入試直前講習、平日の放課後や土曜日、長期休業期間等の各種講習を実施する。
- ・ 推薦・総合型入試を希望する生徒に対して、教職員と生徒とが1回10分のディスカッションを行うなど、全教職員が連携して論文指導を行う。
- ・ 総合型選抜や学校推薦型選抜を活用する生徒に対する準備・対策への支援を実施する。
- ・ Classiを活用した進路指導を充実させるとともに、図書館や自習室の利用拡大を図る。

【数値目標】

四年制大学進学率 75%

(3) 生活指導

【目標】

- ・ 規範意識を高めるとともに、生徒がTPO (Time (時)、Place (場所)、Occasion (場面)) に応じてふさわしい行動や態度をとることができるよう、組織的な生活指導を実施する。
- ・ 体罰根絶に取り組むとともに、いじめや生命に関わる事故の未然防止、早期発見、早期対応を徹底する。

【方策】

- ・ 本校の生活指導方針に則り、全教職員の共通理解の下で、あいさつの励行、時間管理、身だしなみ、授業規律、校内美化など、基本的な生活習慣を確立させる生活指導を徹底する。
- ・ 生活指導に当たっては、生徒の考えを傾聴するとともに、生徒に指導の理由を丁寧に説明し理解させることを重視する。
- ・ 自転車通学のルールやマナーの指導を実施する。ヘルメット着用を促進し、自転車による事故や負傷の未然防止の指導を徹底する。
- ・ いじめの未然防止・早期発見に学校全体で取り組み、発生時にはいじめ対策委員会が中心となって組織的かつ迅速に対応する。
- ・ 生命の尊重とSOSの出し方を、学校全体で様々な場面を活用して生徒に継続的に伝える。
- ・ 学校で起こった生活指導に関わる事項の情報共有など、保護者との連携を丁寧に行う。
- ・ 安全指導や防災教育など、関係諸機関と連携した取組を実施する。

【数値目標】

学校評価 学校満足度への肯定的な回答 生徒90% 保護者90%

(4) 健康指導

【目標】

- ・ 体力の向上や、けがや病気の予防、メンタルヘルスなど、自分自身の心身の健康について理解させ、自己管理のもと健康的な生活を送ることができるよう指導するとともに、生徒一人一人に十分な配慮ができる体制を構築する。

【方策】

- ・ TOKYO ACTIVE PLAN for students に基づく取組を推進し、健全な心身の育成を図り、人間性豊かな人材の育成に努める。
- ・ スクールカウンセラー及び関係機関との連携を強化するとともに、都立学校版コンディショ

ン・レポートを活用し、生徒の心身の健康状態について情報共有を密に行い、生徒理解及び自殺企図等の防止を図る。

- ・ 家庭等と連携し、運動、食事、休養及び睡眠等の生活習慣の大切さを伝える健康教育を推進する。

【数値目標】

健康指導に関わる教員研修 2回以上

(5) 特別活動・部活動

【目標】

- ・ 「文武両道」を実践するため、部活動の強い学校への定着を図るとともに、各委員会や部活動において、生徒の自己有用感を高める指導や、規範意識の向上、学習の定着など基本的な生活習慣の指導を行う。
- ・ 隣接する高島特別支援学校との協働的な取組への地固めを行う。

【方策】

- ・ 学校行事等の運営を通して、生徒会活動を活性化させ、主体的取組を推進し、自発性や帰属意識を高める。
- ・ 「けじめと切替」を重視し、家庭学習時間確保のため、部活動の活動時刻は午後6時30分までとし、最終下校時刻は午後7時を厳守する。
- ・ 部活動への加入率を維持するとともに、活動実績の向上を目指す。
- ・ 生徒会や各部活動による地域貢献活動を通して、生徒の自己有用感を高める。
- ・ 本校生徒と、隣接する高島特別支援学校の児童・生徒との協働的な活動について検討し、具体的な取組を実施する。

【数値目標】

部活動加入率 90%以上

(6) 募集・広報活動

【目標】

- ・ 総務部及びSNS委員会を中心に、効果的な広報活動を展開し、入学者選抜において本校を第一希望とする意欲の高い生徒を獲得する。
- ・ 本校の教育活動を広く都民に伝え、地域との連携を図る。

【方策】

- ・ 中学校や学習塾への説明会に積極的に参加するとともに、訪問地域を工夫し、本校の取組を全校体制で周知する。
- ・ 学校見学会、部活動体験入部等の広報的行事について、安全への配慮をしながら、より効果的な内容、日程を検討して実施する。
- ・ ホームページの情報更新について年間計画を策定し、定期的な更新を確実にを行うとともに、SNSを活用した随時的な情報発信を行い、本校の教育活動を広く都民にアピールする。
- ・ 中学生向け「都立高校入試対策講座」をより充実させる。

【数値目標】

入学者選抜応募倍率 推薦 3.0倍 学力 1.2倍

(7) 学校経営・組織体制

【目標】

- ・ 企画調整会議や分掌の会議、委員会等において学校の課題や解決策を忌憚なく議論するとともに、校務のDX化を図るなど、校務等の整理・改善を図る。
- ・ 「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、教職員のライフ・ワーク・バランスを推進する。

【方策】

- ・ 主幹教諭、分掌主任、教科主任を中心に教職員間の情報共有を深め、経営企画室との緊密な連携によって、自律的な学校改革を促進する。
- ・ 校内の情報セキュリティ対策を徹底するとともに、会議資料を一元管理し、教職員への情報提供・情報共有にTeams等デジタル技術を活用するなど、校務のペーパーレス化を図る。
- ・ 保護者との連絡手段にClassi等デジタル技術を活用し、保護者と学校との相互の情報のや

り取りを確実に行う。

- ・ 校務分掌等における組織目標やスケジュールの管理を適切に行い、学期ごとに検証、修正、改善を行う。
- ・ 個人情報 の適正な管理及び体罰防止等、サービス管理を厳正に行い、サービス事故ゼロを目指す。
- ・ 校舎改築委員会を中心に、関係機関と連携して改築工事の円滑な実施に努めるとともに、改築に関わる学習施設の確保に見通しを立てる。
- ・ 一人一人が業務の改善を図り、効率的かつ効果的な働き方に転換することによって自分自身の在校時間を管理するとともに、会議の効率化など学校運営上の改善を図るなど、ライフ・ワーク・バランスの向上を目指す。

【数値目標】

デジタル技術の活用 保護者通知 12月までに周知・試行、1月以降本格実施